挾菜拾葉集

四

扶桑拾葉集卷第三

目録

熊野紀行　釋慶善
遠江乃道記　同
子日行幸奉和歌序　平兼盛
庚申被奉和歌小序　源順
家集の内　菅原好忠
又　同
又　同

内閣文庫

天福歌合序　源為憲
同歌　同
行幸高陽院殿前和歌序　藤原為時
家乃集の内　賀茂保憲女
又　同
應詔和歌序　橘正通
枕草紙歌　清少納言

参議従二位兼行右近衛權中將源朝臣光圀編集

雜部紀行

釋墓

いつもうれしとよろこぶ世のうれしさはまさるあらんと思ひしに世中はきくにつけてもうれしかりつるかなとよめりなみだもつゆもこぼれぬとつひにはいかなるとかいふ人ありけりいかなる世中の十日ばかりの無常にてけるよ人をも物をも不自由なるものなりとて世のうるさきから

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しるの世のはなみをゆるかに
ゆくもをしけれどいとどたのしかりし
はるんあるうへ世をいとふことなりひとをうら
すあるんまゝにまかつるも世春の
むとをえ秋もゆみちをうるもまゝひよゆも
あるものの世はるの家々は月をうら
とをせきんのうるはまことしへ
世事はいとひはそんうちにうら
をみはえるあるはをものまし
いつこはるはをのうをまをおるあるかへし
秋はゆるまよりうるはまを

[illegible]

北の西は四とはれるまとうれるは月いと世
ろし　おの濃いを天人常よりうるてあるぬ
やいひはをへたるを重り分ゆをいとはりあ
しこをひのうをんあるをうあるれなり
報のあるまりまるよかをのうかの報うち
ゆるぬ風を重はるをしてをうるうまて
女をうあるををはよいあ北をもなう
報のりうをあるぬはりくるもあるを
湖時をもしるれくなるも心るを所も
あるるのるをとうるかし

[illegible]

むへをまつ井の浦よりあらん

月の海の波のうへ[illegible]

あらぬ[illegible]

月は波うちかたよりあれやを

ゆるるかぜうらのあまとうら

波いとうちかたれるあまとうら

波よりもうれしうしかよりまさりぬ

むしをまつ海士もきてうへ

吹上の浜とうれしうへめ

あみのそううあ[illegible]

天はとと吹ちかの[illegible]ハ

よるさへこゆるやとりをかりまる

ちのとをはなをるはをこの吹をきて

うれもむまの[illegible]のゆうよ[illegible]

なをとをうしなくや君をあくら森

いをちれ鶴ていかるやうはるやう

あるへし

万代のをうをいをそをいをそ

いくよろはハむをひをちめ

ちれ濁よこいしをいをなて

うをなみよゆうをそをとをんをひうを

[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]ぬ間[illegible]
[illegible]
[illegible]

の見れとよとゐりぬきのそとよ松のこゝろ
しるいとりはくらそへゆゆるよ春の日
ゝ春のよ四面いそうゐるよ
いとしくあるまつきよ秋神宵
松のこゝろもあらしくれ松
神ゐるはくれてよ春のこゝろふるゆの神
秋月ふゝ夕はゆみとまろ秋
ふゝるの神てゐうゐるゐしゐ
おゆひと男ゐてゐるり秋ん
ゐゐゐゐこりとゐる神ゐるつまぬゐてし
こゐゐりてゐれゐ宿室ゐと二三百ゐりゐの

おゆひくよゐゐるゐゐるゐゐとたしゐてし
うゐりゐゐゐ人のゐとゐいさゐれゐこの秋
ゐしるゐゐるのゐゐるよしてまゐはるね
ゐりゐゐとゐゐたゐゐまてゐくゐりはゐと
ひゐゐいまゐ御ゐんあるゐんとて芸ん
ゐのはゐよはゐるゐいものゐらゐゐゐ出ゐく
ゐゐて秋ゐいよゐのゐゐゐゐゐゐられあ
ゐゐゐゐちんとゐゐゐ人のゐゐゐゐゐゐゐゐ
といひくゐいちひゐゐれゐ月てゐねゐて御
堂へゐりぬゐゐゐら御ゐはくみくゐゐゐれ
はゐゐてしこゐてゐすしゐはまゐてゐ

四りて、きいりて、ゆり出る月、たかき所を
上の清まつはとすかもあり、らい堂のすの
そのそとまみのうちきはく見ひやりて
白川いまのあれとなりぬるまそふ
むとなりはて、おくみてあるそよ
うぬやもあるまてさぬふれとよ和月の
御八うはりぬとのたりはつるまあ
そあるたるそ、そうちそはる
人うひとせまりり
とうれの四のゆみまひは
うむ世まの白我月つしか

いほるとものまとのうちとはつよそうんと仲
のうちとはりふ
ちろ人はは月まさ出てるはるむ
うそれの山のたくていはも
まさ年ちの家まつるそうとうい
玉のをもむしまふんうそれ
おとそうけを過つる那
ちるさみぬほるまる京月世四のほとのあを
まそれんをて、とそ川の作まをへ
ハんもそうさぬひはへ神ゆう
学えはそうなれいるをよ白ら志後

[illegible]

山ずみしてもちろん[illegible]より
[illegible]
[illegible]きゝもれぬ[illegible]
[illegible]人の[illegible]
たゝかゝ[illegible]
のあるし、この山いほりにひとりゐてそ
[illegible]
いひ[illegible]
山のなかにそれはかりそ
[illegible]
その山のあるなれとも

[illegible]たゝかゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

天人はねたりてゆくしまをたて
ふ宮ふんをまわたをたかの葉をかさる雪もちり
ぬうとゆのもをまをうをれをるるとはもうを
ゆるわくしのいそをやといふあり、たく松のか
ありあるゆなりうの中をいてもをまをみち
をもたかをもをまを神のゆとあり、
はこのくをりの湖とまつほとは
はりのあるりそ久しうきれ
ゆをまを多海をまをくいうくをとし
ゆあるたかをまを海れをを風を
をまて雨のをふものをたをあるう

天人のたりてゆくしまをとりひく、
天はんいをとうををとをわ
はのちまをはいをはををはら雨
四十九院のいをやのをいをる雲乃いを
をあり風をまりれをあをい、
をを風を我をを波ほをわひく
所をゆりつをををはをの雪れ
ををを海をいふ雨をあり、をりの雨をひをたな
雨をを雪をををといをいをやををいををを
あり、

をなをををををれをほのをををを

そこくの海とはいふなりけり

伊勢の海のあまとをとめのひたる袖なれわりて

といふなるをとをとめにひたる袖なれわりて

なるをとをとめもなくねは松風の中にとまりぬ

はるく秋のあきまりれて

秋とはいふなつきもあしはの秋

あしの根をこそてやもむほとをとをとあり

なとすもはんはうをれたちの山とゆり

なるをしをのといつちとをいをれつるんかや

をとゆをとをきあひたをとをいて寅はをを

ひはるをとをつをををををはるを

雪とみるをのををををあつ坂の

せををとあくをぬをなをみをありをり

とをををくをぬはをみのをとををて京極の院をつち

をををををいりををををををををを

きてをををををををををををををを

しを時思ひあをををををををををを

かとををを

ををにををををををををををををを

をををををををををををををををを

をををををををををををををををを

遠江の道の記

同

三月十日あかつきのまぎれにみそかのひるま
むとてなり

文たいつらゝふかうあまたのふを
はひとりもれにけるを
はるゝ者まて京をうつしてみる
あこけみの白雲まて東路の
もののつりまてうつ
見むとのみおもひ
見ぬ海人のすてうり

あさむしをひまふのまぬうり
人はとうゝうり給て
なまいいて

うりけるあいあつまりけ間をもち
おもいいえしうそ絶さりすり
をとはつとといる雨と絶ふかよ
うなるけみるひ海ものを乞りけるる
をかさのりうゝ紙みをそそ給
かみ山はねて雲のうはを
うえ山はまてうの新所ふ
うまりかうのをはうを

あけくれきこしめすと
すみなれの山人とのまうさるる
きひゆなるわるるるるかな
ふるさとのかすみとなりかくれて
そらゆく

[illegible]
あこがれとあはれとくらん
むしのこゑくれたるひしりのふるさの
ものやけるもしらぬ夜なりてなむ
ほちはまうけるもし山路の草はまま
まくらとしらぬ夜なりと

又

わをなりとこんぶくうしの山路の
むのいろしをくたらりりり

山あるのもるのいりをるりをは
いつをすみし里ともまま
うこしりくさぶは日くれぬかくひし記
里はあれはすまりまりそれをうれ人いり
ふりもりとをよりもり先ばりしまあ家
かうとこるのくくあまま俗をと見も
しる人なり記をとをひ出てい
あどをいなりなるむしりん

文右は月はるかにいつる秋
又と人は思ふべきものなりとて
なをもかくみそそ人の海ふかを
ひるよりの卵しとのふとまりん
をのまとりてそりよあひくその秋
やうこうこりとまりく侍るよ海とあ
まとそ花
沢にをむかしかうなる卵
むくしく神をぬしつるふ
花ちりのみはうこ
ひるよ行人しを沢をとそん

てなるうの卵はうこみのりうを
あこ山をそけくしのうるくと呼て侍るよ
うこをかしりそもくうん
ふもくこ山をみきまにし
うの秋ちのとこのりを花をるを人を
とまりうこ花をと山へ紀をあ沢
を木のをるまくきてやとり侍りく紀を
しをう 卵しとを れりう侍るを愛こを
沢くあをとぬしみつをとをまを
月沢の月をと神りそうり
をうあををうりそ波しをりをいうり

ゆきたちて、

そのひとはそこにねをもうとの

こゑをきくみゆきをしりぶ

みやらびの夜はふかくふること

ひとりぬるをきくことうちかへしゆき

ふるさとにあらのさけをすすめ

あしびをそをへけきつくれとけふも

きけるかたりのひのすがたり

ゆかりのいとうやくとすてきく

そこもあはれのものとそ

人をもとはるあるはそのおもとし

なるはうらうらとふいくるるよせと

そのこゑをたるを

中をきそをわるしをそのゆゆる

すゑ原のそのそとをとんそうん

すりつるまて後あはあり原のそうくあわえ

はるる

那よいをしをるるるこころあるぬる

をのはるの人井のやりうをを

部屋のこゑをこころ

ひのうらふ物のこそをわほうもた

をりしをやこをねをのうりせよ

天こゝろのまゝを
　　　

六月七日つとめて

夏山の木ぬれをすぎて
ちらすなる世をうらぶれて
夏すゝむ月をなりむ山あらしよ

つまくいなきひとも夏もとゝ
人ゝもなきものゝおもかげ乃月

つきもりよ秋まぢかしゆくまゝふ秋ふかまて
ゆくゝ

ゝゝなとやみはすゝ〳〵涼まは
たゝもるものゝそんくもりゝ
おなし月はゝ六日落花

恋ひくゝ
いとゝまされとゝゝ
七日乃ほとゝゝ
ゝふりゝ乃あ
うゝゝや秋をひとゝ
たゝ日ゝゝやゝ
七夕をゝゝ
ゝゝ

又

たゝをゝ
いゝゝゝ

あるぢのくにのかみ、をとこをなくしてのち、
をとこのあるじの女郎を
あまたやいまくにをとこをとりむ
男をとりかよふ人はもとりつくるふ
人はなをいとあまたやうまうとて、みりぬ
おこりなくはるるに
然とふたてにあるまりに所生山
もうりのまやいまりまうるね
あるるまむしーのるると
きてしるるとと婚の事ども
所生ぬまりむしーも明まり

あるぢのくにのかみ、むことをひくはりて、
君はいまるるに人まを
ふるたるけるるるるね
菊をいとれるる結るまのりはりるん
ともむをひつをはる
うきあふ君もうるる結
こりむさるねまるるをるん
をちかた　おとりのるると男るるる結はる
もいるるるるるとるはりる
結りあるとすををるれをはるるの
るるをのるるる結めるるり

[illegible]の碁をいとうとむろ
[illegible]つ[illegible]はむかはるるつまと
[illegible]もまてる[illegible]ひろ
[illegible]とくとむとくさけ
[illegible]又ともあるう
[illegible]たをまいてこと
[illegible]
今[illegible]
むしのむ[illegible]世[illegible]
[illegible]むひつ[illegible]又[illegible]
九日

[illegible]
[illegible]
[illegible]

為ふしむとそれ[illegible]ん庵もりさ[illegible]
[illegible]ていとひんを
[illegible]れをつくふ浪[illegible]
松のみを[illegible]
おけ[illegible]なりとの屋といふ所の住[illegible]
さてうけ松をそへて作りしるすとき

百首詠歌序

平重盛

わかれをしむ[illegible]をめくくみ給
さそはんかまた[illegible]
[illegible]

[illegible]ひとをそへてさきをいそ[illegible]
[illegible]ていそ[illegible]
東をむきい野をむ[illegible]梅ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]
校とする[illegible]
中を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

庚申夜奉侍歌小序　　源順

侍従殿はいまだ[illegible]秋野[illegible]わりなく後
[illegible]
[illegible]
[illegible]

きくに思ひあてもなき物たいりこいりの
ひとりねんつうくるを思ふこころ
とりあつめる和歌こそ紙ぶんにてはかれ
ぬとなげくにはなべてまきもの名ばかり
さもあるべきあるべきよはれ初とうこそ
ぬれもうるるかの事まのくとりこれ
沖つ波おくれぬとも先こそこいそぎ給へ
とくく今はいかに命紙ぶんのうがこと後の人も
見よとて筆とれども書くまゆゆゆゆた
はをこそかの命ふるまも
和歌をこそこいとしいれかはれ

春のうぐいすの代をゆるすん

家の集の内

有祢宰相の小さい紙にかいたる
孫のうぐいすかたりまはりひとまはりまはること
かをもむやまへてきこえたくこゑをはなく
ひつまひよるもくひ〳〵ゆゑにあるあれ
やさしいと思ひつるもとにとりはなる
梅をきけば紙もあるくゑ後とぐるまきこえ
ちるを見れば多後もおりとんるあと人まち
しこれをはくりわ後ふるあれ来

をれば　くるのちる　ちるまれ
なれば　秋の夕　月のみ　ちるまれ
和風の　さびしき　色を　あらはす
ふることは　おこるれば　やうにて
なく　なれば　なくと　人をみる
すおいの　ほど　なれば　ちるまれ
とんよと　なれ

又

あれを　面の　ひかれ　みちの　あるまく
ちりの　ふる　なれば　なれば　秋を　おぼる　葉に

同

ふを　なく　なく　なれば　なれば　面に　ふむ　ひ
みなる　むしの　なき　屋に　なれば　なく　あれば　やと
つの　ものと　なる　なれば　ゆく　月の　なる　なく　なり
あれば　なく　なく　なく　久の　月の　なれば　なれば
ふる　あれば　なれば　なれば　あれば　なれば　しる　なれば
面に　久は　ふむ　なく　なく　なれば　なれば
なれば　あれば　なれば　ゆく　なる　なれば　なれば
なれば　なる　なれば　なる　なれば　なる　なれば
なる　屋に　なれば　なれば　なれば　なれば　なれば
なれば　なる　なれば　なれば　なれば　なれば　なれば
なれば　なれば　なれば　なれば　なれば　なれば　なれば

秋分はもつ母屋うつ[illegible]
とくとくに[illegible]葉の[illegible]
水はあをよつもとこと[illegible]
[illegible]
あさちの[illegible]
しなれとの[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

これ[illegible]おうしれこと[illegible]あむ[illegible]りよされうみの
あまれたるまくわうまを[illegible]なうそ[illegible]
と[illegible]みあること[illegible]いを[illegible]とうこ[illegible]ものもつ[illegible]
みあるとうみをれ[illegible]きぬきを[illegible]をもつて
とうきく[illegible]ら[illegible]ものうちかれをひきこと[illegible]
[illegible]あるそ[illegible]おうとひけ[illegible]へ[illegible]ものうを[illegible]
[illegible]ものうちかれ[illegible]をうまれたるまれたる[illegible]
をすちあさうれれ[illegible]れのゆへ[illegible]ゆるはまれ
を[illegible]るれよとあるう[illegible]れ[illegible]しよりいしは
[illegible]れを[illegible]りまを[illegible]郷[illegible]れ[illegible]

[illegible]れ[illegible]りを[illegible]ものうれ[illegible]を[illegible]
きるあまさ[illegible]の[illegible]ものうちかりくとれ
[illegible]ものそ[illegible]みくを[illegible]なるはをう[illegible]を人[illegible]
されうことなる[illegible]と[illegible]あるこれ[illegible]をそう[illegible]は
あるうと[illegible]ものうひ[illegible]をあるものうくれ[illegible]れ
と[illegible]るまれ[illegible]うを[illegible]れ[illegible]をこそあれ
[illegible]とるものあるれれ[illegible]れものうれ[illegible]ものとをいうをい
(あれ)とあるをれまれ[illegible]なるにどういふこと
[illegible]れまれるれをかしこれをあるをれ[illegible]
もあるうさなるとれいるれるにともれを
[illegible]をれ[illegible]まを[illegible]とんありうあり[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

同歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しんのむしのらせんのごとくに
西の文字海にうさぎやまさ海さるつきこと
とれ者とそうくあるとせのさるうおまへの
地の面ばかりなくしてつゆ月をのみかゝるる
よ花れ文くしてうちんと徒らう風ふる
秋さむしうるをゆくこゝ出れこゝもな
きあるもあるかれ事やもなくしこ
乃玉捨くいさ枝ト色物なんとれ
れること義うあるもの如れるこ
おさ井くれはみれ井まうとゆ
物あ海あ人とのうを色ちこれしやくうの

人とうれはしくふ海ちうしの海う
海してはくるを物井みう改あうて
みうとれ格寺源のあ色海れ紗ほし
海さうかうう海ま海れ色くく
みうようあまくつとう徒うれ色ふあき
海ややう海さあうあをれたまへの
花れ文出乃梨うんあ色なかとと
ト て海う色ふ出色のを色うあ
くうかくくうあうくきみうあ色ま
海くみうとうれまたくまう利
ちくく天孫とうくうう海ちくくせ

九秋のなかばなれば月もいとさやかにて十日よい
海のうしほとさしみれば

行幸高陽院應製和歌序

善滋為政

聖代をさかえ天の下よみをさめ人のくに
れあまねく日月のかげとともに末とをくえれて
しほのあふるゆくすえをかぎりなきかぎりあれ
つるの五年の春九月朝夕
まうこしめしの事あるをたのしみ
なるあれんのとけきせよゆくの月ぬり
こしをくをとるをもあまたをたれゆかいり

うちをみをいりもせのみれ雲をあをぎ高れ
きぬのなかをむかをもうに百敷れんう
いくをくをさかぬいあ海をあ沢
れあるあるあるくくれのいかれ
ぬをつるみるれみるれるれわ
しのぶ草あれかをうかあるいをれ
をあをくあるあ金あ高せををうをあをきをとを
ををれ海ををうりまををあをれの
あををあをへしれんをををれるとの
きんをて中宮七月の十日やうあわう
さ海をわうをもあをれよわうを海

[illegible]

秋の夜もくるるまてすくせ[illegible]

[illegible]上達部 殿上人海の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いかとこそおもつてこゝろをとゝのへ身をとゝのへ
ものゝあはれをしるもしらぬもたゞ
をとこ女ともかくさまざまなりけれども
うんやうもてりいかうもこゝろやはらぎ代より
をとこをうこゝろもものゝあはれをしる
をとこをいつくしみ心をしつけんとて
をとこをいさめをしへもあるべくそれもまづ
ゆゑをしらずやいかにとさとくはなちとまふ
きくとのつゝわらひをしへうきいかに
はまことをつきぬるこゝろもう
をもをぬつゝもかのれんれんとなんをぬよ

ものこゝろにいるまさりはさ
ものをしりはもむかつゝをもやし
ゝはとをくをもれをたゝみの
をこゝに身をつむるをこゝろをさわらぬ世を
をむをのをもにはりむいくらをふをひゝ
いをくゝ見ゆををくいしのゆをこに身をか
きくこををもををを

とみて人の門をたてこめてこもりゐたるを
あらしられぬ人のうちへ入りこんでいろ
ものをいひてこもりゐたるを
ろうさせとりたるよりもて
へむこうにたちれば昔はよろうあるを
見ていとゝ恨のうらをあんせむ
しれをのぼりうちたるもくさをのつう
ちかれをあんをれいくさ海くるこゝろみ
狂をけうあれるうさこゝいろうをいたし
をけうめうあれいさうともくうきう
あのこゝのものしこゝいまとしれいゆ

くまにあんをるうこゝ
あいとも沢ゐ乙こゝ
乙うのうこゝれやい
あ海あいもうへのあ
られうしゆ海あ
ようれまひてあるし
をさきくこゝうう
てこもこゝもよみう
しあ水ようをは法こゝ
こうを海をうくこゝに
いうひあうさ海よりくる
れたるこゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]のひいつもおかれとうつのあいて
[illegible]あやつくさはかうなとつもたるあるの
日ろ[illegible]なかくくくくあるこあるといあるも
[illegible]あかまきあ月[illegible]きくうゆきといる
[illegible]あるくあるあるあるあるあるあるあるあるあ
[illegible]からあるとれるいいう
[illegible]くのなくくくく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

こゝろ
そてのこゝろとこゝろもゝ
さ結ぶとこゝろ
わゝとのそてに
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ

あるもれうきなるてうのうなる
やわらむされとひてるはとをいうしれ
をもむしなをもむきるはしらぬも
をもいていろをなるこの角とう
きうををうふくそれをうれはし
いくるるるかれいるれるはのかは
見えれるのををるるらかや波
か絵のうをとはくをもしうをれ
これてるうきうをんうれを
見をお絵れをるる世中をとのくえ
うらのへうんあう意

又

世中りまるるとれむりいあてをを
きをのふうれまるのををれをあい
をあるるよ年れをあるをれむをるい
これうのるへをうるるんををる
ををれ和るのををもるくるりてう
うれををうれ人をるれをるれをけて
きををはをあるひをみるれるゆ
うるるれををうれはやをるるいう
みをを行をはいはをもるれはやをあを

同

れの歌いとこそあらんと思ひ給へ
もゆるしきれたるんとをいやしき女房
をうれたるあるへれいたる女房とは
めわびくしたるせよ海をもきるかれす
人のことをおもうもあるをもきれ
をこいたるもいたてさはらはををる
れたる人のこともをうをむう
あるれはゆしきるをしてしんうなる
なる秋ありうをつるるさこと
ここをたるいむるれたるとらよ
をのたるあるしれ奥よりうをうり

なるうんこをたるいひをむるるけの
ことをやうれるはるをりふるをとは
海をとくをはのうちをるをきりたる
ふをいとうをとはをたるれをゆ
人うちくやをとをうをしし
あるをはををいてあるはめをに
をはるををはをむをいひありをれを
れれよをきをはるれはうはうう
をつるをれるるをうをををて
をるをふれをいひをるをれゆをれ
をうをれいあり於ををはるはをる

を四ちとせとも
うまといつる月の
れをていはくに
ちとせくらしき
りわくまれたる
うあをいるく
れをとへをて
を行むよう
なうちれを
しあをちに
ちをあをゆく
ふるこをあを
ねイ
丹をいこる
をもをもをみ
ちをををを

へんれちよをんれ
えよいつれをう
をうこんりうえ
んきをしてを
ゑをしいるく
をこりてをを
をれよ毎ちを
うこ初をを四
あををれ
ちりと四をを
あをちりつれ
ゑをををを
ちををを
ちををを
ち

れをはなれあれはあるべきことにあらず
んをいのりくらせをとられをんいろるかを
きらはるるなをはるるはるるはんを
をはることれわれるるるいろるをいるを乃
いるをるるるるを表しを海るるるあるるるを
いを海をを海るるれをことのるるるるて
るををのるをやまれ海るるるるるるの
るるるくるるるるるるるるるるるるるるの
くの海れるるるるるるるるるるるるるの
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる

しかのるれをるるるんるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうにたてまつるやうにまうさるこそうけたまはるむ
ねんにてゆゑしらぬたてまつりとくいそ
いで御みもいとさはがしくあはれ
なるまことにまことにまことにわが
むかしゆめにてうたてしとおもひ
たまへしかどいとあるかの
ことあるもとしてあるらまけどんにむかし
ぬるかのやうにてすくさめのあるくら
しらるるかぎりにてやまむさま
にてつかはるるひとをらに袖をとむ
かたにはかはりたりきき

くるとくんとるるとこれやもむよ
はきてそらにはとうそもうれはむ海
てあるこそいれたるひこのくやなんやよ
ろうそむとさむるよあるひにあれ
にそいるるんをるるもるひと
るをいとにはるれるるもれい
わるるるもいもるるるひとるる
海にそれとれもしはしり
それいにもさくるるそんる
きるるのはるるも心のるるゆきる
しゆりてきれいはるもれ

ことなくて、うゑあつむるてにもけるさまを、
そのみうゑをさをしたがくうゑたがくは
かくのごとくにしたがひて、ものこのみ
しなきのさうそくやこれをもちゐ
ぬることをえたるものをとのみ
とりうゑたれば、たをあまるとく
をそのひのなかをもてあるものを
ふるあるべしまを

應詔和歌序

橘正通

ちとせのなかなるのはこのもとむとをしへく

えあり、をひのはるんをもれいみこをかくさ
あるをさることをもをもをもはあるれ
わむぬとかりけかあのいりをもはるを、
人くあるさまをのをあるうはまくはうう
あるをもをるのうをしたがぬうちき
をれやうはをあるはをはのあるやまうの
あるうをぬをのをるをかをあるをうを
をもうをあるをもをのくいはをもぬうをはをを
をあるくをのみをうをはのをみををを
はをうれをはをうあるをあををぬはる
ををぬをみをおいををはるををはをあの

[illegible]

枕草子跋

[illegible]

清水紳言

[illegible]

海の底にくちおちてあるべきものとはきせぬおほうれ
紙のうへにしたためもしたるにこそ
なれども世にはかうやうの大方是も世の中
にはしくもとうそくもとうそくもとうそ

扶桑拾葉集卷第四

目錄

紫式部日記

宗武朝

扶桑拾葉集巻第四

参議従三位兼行右近衛權中將源朝臣光圀編集

紫式部日記

紫式部

秋たけぬとかとかとかまいたちかぜ
いとうとうしくなりまさりて池のほとりの木ども
水のほとりの草村ごとに虫の音しげくわりて
なかるるもあはれとうちなきたるこえ
ひとつとしてもれぬるはなしかれはてぬ
さまの草むらとりあつめたるやうにて
うち乱れたる中をわけ入給ふ水のほとり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

通夜毎宰相の君の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をひろきそれ、みるまに死さし、かうぶんん
法かしまさまさまさまさまさまさまさまさまさまさ
いまひとりとうとうとうとうとうとうとうとうとう
行ひてなりぬ人々は海しるもたりやう
みまさまこゝかの思ひ知れ北の中將よんあるをて、
あるこれもりしこの海氏殿あるをてこいひあるを
いつかなるさうなるとれをあるなくあるあり
をんまさまあうんるさまはたちをもをを
なるをそれ濱みをこうくわれをあるれ
てあるこしこうをんをかんみをうをし宮れの
居れはうつうしこの海ををいをうう

らうよ作の海していうなりきんされと
そのさいまみをあるをんまこの海ようをんよ
れはくりしかんあるをんをこうをしこの海をさ
殺殺の海くをのをれねるをのをろ
をををくをのをくつをさけんのをんよ
ををんをあをうをを陽ををんをををを
いをんを右道ををんをををうをしをを
をれ海殺の海ををまをををあををを
けをれををのをけををををををををを
をくを神をうをれい移んをくあをうをを
しををんををををしを海あをうのをんを

うすれはあらしはのこけむすこと
さなからも宰相の君とうちと
えたるよ秋一よのあはれもこ
めるものをうらめしと絶しそたる
人をもみるとてさはれるはのそこ
ゝろをもこれてあさ日さしあるを
つるはれてまはらはなる
きよはるさくおしほるうこと
恋いふかのあなたんはるとし
はさのあくあさるれはれはれはる
世界なとみるあらあれてやもむ

はるはるはいろ移ひはるの人のこのうれはに
見ぬ〜つきくはるふ屋もあ
なるあさるはるはるはるはと
紅よはるはるはるはるはるはるはる
はるるはるはるはるはるはるはる
なるるるくれはるはるはるはる
はるはるはるはるはるはるはる
てはるはるはるはるはるはるはる
れはるはやはるはるはるはるはる
はるるるはるはるはるはるはる
はるはるはるはるはるはるはる

右宰相中將、權中納言とぞ申しける。
権中納言、
あまのはらふりさけみれば春日なる
三笠の山にいでしつきかも
さいまろ、
此中將、
かきくらす心の闇に迷ひにき
ほのぼのとだにいでよ月かな
ものいひ、
むかしの人の
あるじ、
あるじ、
あるじ、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源少將雅通卒[illegible]

[illegible]

[illegible]

い所ゆゑ絶えうるかとおもはれて
かしこうもとゝもるれば中こゝろ
くるまんもとゝもるに
ひしかれてかひなかりけるうへに
とりあつめて角えたるこゝろ
ゆるりはいかりのむりのこゝろぬす
くようなりてかさ称ゆゑありやうとてのを
ちゝはゝもあり
しかるやうなるゆゑなし
あるにんあるかたをそひ
あり御ようなるにんこと思ひしるよ

ちひのかとれはしまちのおりとゝ
あるにんはんのおもひ
らりあんくるもとゝもるあ
ちいさうとて神くらをとし
ものはひゆゑ称てこれ
あるゆゑ
あるこゝろもれさ白なる
なうこゝろしみこゝろ
ゆくそくそうこんこゝろ
やうなり三日ゆゑ
まりそくゆゑ

[illegible]つのまゝにて[illegible]人のまゝ[illegible]ちんのはんをう
[illegible]なとゝ[illegible]源中納言
義宗卿に[illegible]をたてい
[illegible]ひとつゝみ[illegible]ひきはくゝ[illegible]
れ[illegible]ゝ[illegible]れ[illegible]ゝ[illegible]
人[illegible]
作者書 [illegible]
[illegible]上達[illegible]
[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]千[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]上[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]世中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なを[illegible]くらいくんらぬ人く
なれをひっても仕合ん[illegible]の人くも
四ちひ[illegible]ひ[illegible]て[illegible]
ぬ[illegible]ものくる[illegible]
ぬちひ[illegible]ものく[illegible]
やらいくらいに[illegible]
[illegible]勧学院[illegible]
家さんに四くくも[illegible]
ろくくも[illegible]
四さ[illegible]

うちとのそくさいうもれいか四れ
くもてさいうれ[illegible]
[illegible]
れも仕勝てれ[illegible]
[illegible]
ちいされくろ仕丁のうちかけれ
くも四もなくに[illegible]
のそくひもくくなるくらたく
[illegible]
[illegible]
[illegible]

年もいま一日ばかりとなりぬれば
わかくさのやうにうつくしき女さうそくされば
そなたこなたへいそがせ給ふ殿上人かんだちめとん
しやそうしてうかれかやうあれかくやうに
れはうらをふきあはせ給ふ中にもいとあれ
かやけさあはなりぬしたちたるつまもとも
橋三位ばかりとりわきたいれば女のそくあ
をりのかそかうそくしてさうひあ
そうぞくなりもなほうはなりて文
つくれわかうして年ごろうしく
つくみはてぬ八日人をあつさうそくさ

ひあはうり九日松の春宿推方更たうあ
つをはしめかきみつしひてよろひあ
あいうへうきうさうあるとうと
いあうしひとあはあるいあはうらいて
はうらいなとまいのてなれいあはり
うらあはうあれうきとうりうあるうまと
ひつくうあもあうあはうあうはまと
ぬいれはりてううあはあはあて
人こいこうちものはあはうあ
くんあてなあはあいてうあはうう
うあはあはあくうあはうはうて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かりてさいぐさいろくくさぐさひかるもさるの
うんとさいろあるもさるの海くようたてこれも
あさこりれ月海よりはるかもしはけ
月れひもさそさぬくさてさいらしてるうかか
そや海してれるかたてのたてしもなのの
なわ月ものうまくうこてさくしくもも
てかしとうやこそてはけるあさ世ひもて
うてまくかてたてこれりしろさ
そこ波みさそよ波ものあてもあくおりひか
あうらしんれ月ものくうれうこひうてりの
うくれもそひ月ものけいうさの海され

りいてくるさいうていさいれれれ
志かん思るひかかしはけるかうをく
あまたたてこうかうあるて月島もれ月
ふくかけ月あそひあくみる
水月ものれこれ
我も海あうる世ひてうはく
かもしさこれ月海りてあそうあれて
月いてくるかしんたうれれれひそくれ
月小将の志れ月れこそる月世てくく
しし時月れとかそくくもふひいくく又
月れくれもうさうそんくくしし

をれうちとやうとき物ゐりをんなんとうか
見みたるみをちうりゐたるかとてあう
うこをんしこ

雲月なくあるもかるとしも
いうみをみるをくまかるうん
かきたるんともれはした
こゐをいわれをくんのをく雲月あれく
なうむう神をかくさもなうさ

その日あうしくしたるふうもさ
しうあうをもて西海をまわけうしも
ハいをばうたるひやうれてあうやうみ

うあうしう物のうをあうあう幸いうう
つうをうう人くをうしんたうひてん
たうめれたるいみをいなれいこうう
ゐをいのやうみさうふうもあう海のうん
れをのくたるうを中くうくれをうくなを
もいうしうくのくう海ふをうを西毒み
大将の君をいうう給いをもるかうら
ゐううなをすれいれをいをもを日たけるんを
たのをんもは君をるたいてあるをのいを
かをくしうををうんをいをうをてこ
なんを西うみるをうをみれをうば

こそはなるていとそれはいつかあるとおもひし
むかしをもかれくくしてもわすれぬるかな
歌をみれいかなるあはれかはなるらんとおもひ
ながらもつのはるていとかなしけるに
はかなくぬるとおもひなれてとしくなるたちさま
ぬしらひもなれかすかしかるあるにそなる
すけかしかとみるに活帖なれおもてよお
もしなほひとみかものひさしれんけ
忘ぬてはいとをそれるそれるつるてる
て知んかるあれるるいかはみるみの
はるるるかるあるるるるるる

あるるるるるるるるるるるるるるるるる
あるけて因幡二人はいかるの目はみあけるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
あるはいはれむりんるるるるるるるる
るんるるるるるるるるるるるるるるる
るるいるるいるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるる
るかるるるるるるるるるるるるるるる
えるるるるるるるるるるるるるるるる
いるるるるるるるるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と、海うて吉野よりあそびて西ゆくのうち
ゆきゆき海と、そばくなりぬ、ぬくもりぬ、ぬ
吉もはるくみのをとも松風もうら波の音あ
うら波ていとまれ、ものうしてくうくうれ
たるぶ風の水ゆらぬ、ぬ極てうたるぬ
池ゆ水なきたちさいりて物さむこさ
えの山あてゆ、ぬ、ぬ物をうりたる
九条九命婦つとめのうさむうる海ゆ
神かりうさうえうさすう法人こいまのひて
ぬうちくせんの命婦古院れたりも
時ぬの夜れ物幸いとうもひくあるし

てなり春れりこうれありなと思ひて
いぬとゆ、しきゆうも有色うれいうつう
りてうれあ人今ぬ木下角てあ
れなりあ山道いうなりもんかてれいふ
人あいうち山ゆ法花ぬうゆ法花ぬそ
ぬ山ゆ海りていとれりうよりうえれ
うぬうゆくくうさうえゆ石れれとし方
さい所くぬうぬうりあひてかんさうあ
もてうやしうさうえゆ長陽ゆれかうなや
方さい所くゆ秋ぬとゆ物うぬよりて
あうれれゆい夜ありれれくれ物幸を

なりてあるいとくあるとは思ふんなりなり
ちなくも侍りもあるべしとて思いかるこしなさ
らるべきなれども侍りもれ
らなきいとめてたきもれ侍
侍ふらんとて侍りもいあるべきまいてこそ勢
給へて始めてそなりてそれ侍れ右兵衛佐
侍れ家司のさうなりこそ侍ふ文例このさ
してあるかいと農勢させ侍りあるべ
しきこれ侍ふらんひとりなれ工藤
新宮侍ふ藤しなり侍ふ前兵衛
かとそなれらるい別侍もそなりさりなる

侍ふ別角なりなりなり右兵衛尉大宮出
東よりこれとけりなる侍ふ長峯おつ
きなれ人斎藤とこれ侍ふ勢
侍て祇もかきこ和いかきあるけれ
侍こしあるとのこれ侍ふ勢侍
又あるる月門乃遠侍ひあきりもれ
ぬよりいれ里ら別風とすりてみ侍
なりあるりなりなりあるひなる勢
侍ふとこれ侍ふ幸れ侍ふ又の日文れ
家司別面れるとんなるこきこ
里なりなりあるもこれ侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるとて年の内後中つかさの命婦小中将
の君をとこ人いらこしらうとうつくしう
ぬれはくるしうおもてをかくしたるかほ
小舞のあれとあるゆめさらてもこしらへ
しかたうえいもなきをはしたなくもてな
のこえいつるをりはてはなりいてさ
事はしはしかうをはしてはこしらへ
めてたしあう色のかしらすりはは
えをしれはしくさうそはつるもうし
けなくもあるれはなるをあるひとをは
のみへはそすくれはしらをれはをもち

おいらしうはしたんをもちめれはをこのひとれ
をこいのあるはをもてをこのいはをもをこのはをも
さいはをはしはをこしはいはをこはいはをこ
をいみれてのをはをはをは

のもとにいりて上皇おまへよめとんさ
ぶいつ給ふ所さうめいつとあれん所ゑ
ちりをまりてみかまつる所にけひんと
つゆとなりてゐ給ふ女房ゆゑこつて
ゐらるこれらすきものまれあること
ゆゑすゐ給ふ人こそうてゆきあひ給ふ
大納言殿兄宰相の君こおゐの君文れ
内侍とゐ給へり右れれとうて東下の
ゐとろひゐゐたちみてれ給ふこすき
ゐうとはきこうぬもちひあつまきを
きりたりうれてものけうなるとれかう

里屋うつうゐゐるよいて給ふ
この山ちひて山あそひさ山ちうれ
れいとおゐ給ふそのつきれまのゐんう
しれて所ゐ所右大將うて云れつ
ゐ神ちうちゐ給ふこうきんうて
ゐうゐ西いの山ちれをあかつうきこえ
又ゐ色ちとなと思ひ給てうあきこも
ゐよいみしくこれ人ゐもけゐを
れちゐ人ちゐれ光ちゐさうまれをんのちゐ
大ゐいをちゐ給ふとき色いのをゐひの子を
百代ゐ年をてこれ上ゐ結ゐあをうこの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そのもかこうれしくらはやさ
をんてひとりこもりゐるもの
ちうりのれとくいらつてん
のそうかはるはいたさしたう
いうれさ春はとあはいてすうむひさ
はうしてあるとかとうそのてあるう
はれんもそくはやうはうこうさく
そはうちあるはんそうむはやく
はてあるしうかのこうたうつそうう
こはうはいはさはるもはとこそはう
はうこうそやうはてすんなと

はてまうはうひつはいたうはみのそう
てはのくはれむうはひはかはうはさ
ちいはさひはむうれとかはきすはて
なとはうはうつはのはうはれはう
そうははうてかくしとうははれは
あるかはやそうれはうはてあさう
はてみるはしのんはよはうはて
うはうはしうそうはうはさひさ
うしうひてんはてはうはうはうはう
きんしはうはいはははうはうはせ
はうはうはんはうはうはうはうはう

[illegible]
[illegible]
[illegible]

みまとをんやうはいかにもれはてぬ
くるのまなりしにんのかうひしなる
ままも弧といふはれはかくんあるされ
ものと思れしらんとそうれうれ
それをいやうてえとつまと
やうぶんはくうんと思ふるかはて
らはえ文やらうとくんなとうとう
うれさいとあうに我んはちるあ
もはうとそうんうやりはて
いてあいかられい中とはとのけれをの
はうかうはあるすとう

はうしなりはあうとも思るやりはを
うはひうはんもかうをうてもうて
えるをうれてもあるはしはあ
こうれんうはられてしもうちは
さはあうれなりうはえうう
をうちううひうをしもうはあて
はひはうはあはひかうさし
あうをとれつうむうはぬん
えうをうはうはうはかはをのの
をうるうや大納言の君はれくはは
まへうはいをうちうはひはうち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
少將のめのとにけのは車にとのくに
のぶ大納言宰相の君にわつらひ
つるのち敦道のみこおぼしわつらふ
ひさしう中ぬとのたまはせことに
やのうちとしてあかこと
くしたいやうにおもひつる
おぼしたちとのりもれたまはの君弁
の内侍つぼねにまゐりたまへるそん
しきたちていとうるさいしりてつき

くるまのうちに月のくまな
きをいみしうおもひたる
あるをやがてかりのひたく
ものとそうなりぬ中將の君な
ほ[illegible]
しきに[illegible]
くも見ひとりもれ[illegible]
よ入て[illegible]
なにかうるあるうちに[illegible]
てとくとたるかとも[illegible]
たるこそとて[illegible]
月も初え日のうちのくもるなかいつる

作法の事おほえ侍りし事おほ中ねこんの
れ中将なと侍りしよりこそ
もてはやし侍りしひるのとの
わすれて侍りしやとのやと侍りし人
もひさしく侍りしかたも
四つの侍りしんにしるしるる人も
ちくみて侍りしひつしるるれ
ちんれうこそいつとのうちくいるちとん
そもそもなんうをのちとんそつかを思ひ
くちくの男よりをてい侍りし大うる出
世ありうる人こゝ将の果れをあてう

れけるくよりしとそしてそ
侍りをと人侍りなわ中君よりこそは
しまるて人れかとよりいとひのな
なくをを侍りるるんありしよりの
はをとりわけをこの面うう侍らんする
侍りれをこそうのくをもいひ侍
くみ面むうをもなしてをひ
くりひうれて出りうを出
そしはくりうれ侍りしかも高
後撰集拾遺抄をのものをのをう
りはくりて中納言を延鶴と

行成其時大弁

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぬうて、うるをいくさう、うるれば、ほうとも、
きうのうれり、ほうへ、ゐうをゐうもうもうもを、
見とうろはうるを、ゐ、はもうり見てうさう
ゐ、ううの日乃あり、ゐ殿とへうしいれ、
はゐ孫乃うとくなれと、月うろみさうひふ
きるまやわうへきうれ、ちとうるとうう
ゐをなるをうるいうるゐもみうしを
う、うを秋うまうゐ乃をけ、ゐて、たうを
物ゐ、ゐ、ゐをわうゐうるうを一ゐうをうう
れをゐ、ゐへ、ゐれて、うへいをうへうう
うりをうう、うを秋いれまへ乃へんゐをう

うへうをうをゐうをうをうをうをうをうを
しゐゐ、ゐうれ、ゐのをうをゐはゐうを
ゐるううをう、ゐ乃うゐれいをうやす
うひ、ゐうをうをうをうをうをうをうをう
をゐうひゐゐ乃うるゐうをうをうをうむ
ゐをうをうひゐうをうをゐ、ゐを、ゐア
ううくうしう物をうをうをうをうをうを
はうに殿おうをうをうをうをうをうをう
うくうしていゐ乃うをいうをうをうをせ
めうをうをゐうをうへうをうをうをうの
をうをうをうをうをうをうをうをうをう

えんゆうしにてうちわらひ
てかのうの夢乃やう
なるよしあるぬること
ゝゆめさめるなこのうちれんこち
をてめさちおのれ一き事とめるを
をれのうしもうこんゑくようう
ゑかくめうちうつをこをれ
きをひるをこんちうをうとをゑくお
なんあうとをきにてをうをうをぬを
あるゆうんの日乃をうをいうこうをい
とうをうをうをゆゆをまをていをるん
をとんをうをくゆをうをきをわををう

ひつゝくをあるをわいるくむ徐つゝれを
いをゆくゝふわををうをいをうわをくぬ
うゝ公をんをきわをうをかゝ我を
れをとををうをんの乃をひくをいつを
うをこをかれをうをゆうはゆをたをう
ゆををけをやうをもんをに八をめを
をんのうをれをるをのをちのをんを
をんうをも乃をくををををひうゆを
あうをををくゝをををををこを
をんをちうををちをもををうをけをも
わうをゑへをを乃れはをちぬをいひうを

人なかにてはこれもいとおく
ものしたまへるを　宰相の中将は
いとあはれなるものかなとおぼし
くるるまでいとあきらかなる
月のいとをかしきを　女房の
きこえてはいとあはれなる
ことかな　とのたまふ　宰相の中将は
いとまめやかにまことのこと
ものしたまへる

方はあるまじき海の事のやうよ世いつき
らんとわかまし[illegible]
ゆしくおもわれいめもるこもきいれ
おもうきるを侍従宰相乃めさちはをの
世人のそこんこうをいうたもをそし
ちこのこをたちをこれをそし
もこるを人はわいこをてかのきるを乃女は
のはこうを右京もはとはんなんいるを
こきまをまちこ宰相中ねむしこうを
てこうはは一を和ら乃こいくこうひして
かこうしこんこうしこうもしなん右京こ

源かねしこんしをこうしこを物乃ちんすう
ありこはをきんきをもこおこうを
あをきこるをこいをこひていこをこはかふい
はこうこむこうかをこたこうてこんこをこ
きんこうこうこうはかこをこをやいこ
ふりへこを古はこをこをやいこ
はんこをこおこうこんこをあいこん
らを中こはこうこあをこをこあをこん
えこうこるかこあこうこんこをこうこやい
をこはこをこはこをこをくこひこけこをこわこて
こうふこうこをこをこりのいこをこあ

はるばるとゆきくれてとまりぬるに
なんぢなにくしとおもふ
いまやうのこゝろあり
せちぶんにまいりてらうぜきを
やまうちにうつしふきりたるとく
ちうきさまにいとねんごろにふるまひ
たりしのちにあるべきをば
おやうちとよのまへにまいりて
ちうきさまにはるばるとあれとうち
はまいりくるにはりこさまにあり

さるべきものをもあまたそこの
はるばるすまとおもひ
さぬよりあとさうくしうしむさきの
ていさのひやうよりきとまをはるかに
もはるばるいきまいりたるにそ
とさまにてさもあらるまきつか
ぬのんしてこまを中納さの君よりなん
とあるやうにさいをきりとあるれば
らんこえんくらしきれとおもはしよりを
きまりに女のこゝろをそいけるものいつまき
つるとこゝろにおもひ女御とのくとろに

おもおもしくなりぬれば
むかしとなりにしひとのあれば
きちすきかとみまはしたれば
うちとけたるようにて
てうくいもとおうしうねきやう
なる殿上人などいとをかしく
うちんうちのこもむしらんとて
いもはし　あるうの女房ゆかされてきしか
くとりあつかひていとをかしく
つねやすきめるとうにくろかを
ひしるとしたなし

あるにやとこひこそ清なるやうなる
すがたにつるまれてうこをる
ようにつるまれおとさ
きはをよつひいとの　梅中将乃君なる
うの日いはいの色い殿ものねとも
殿つぼうんちうもひとのうんきち
もこうりく　和一夜かう殿ちいと
をのさいうきをひとそうつく
うちのみいはいこれのこと
いうんうきいるあうしし
ちのうるれはしうこと

[illegible]
白[illegible]のうくいるるとつるいの君[illegible]
かをゆくとを[illegible]
[illegible]
[illegible]
しとれんてひてもわるをみし
[illegible]
[illegible]
きてゆるし[illegible]
[illegible]
[illegible]物[illegible]

[illegible]
[illegible]
やうとうちはるをうしの[illegible]
[illegible]
[illegible]

しいそくも手紙よとりかわすこと
ゆるしいつも仕ごとをすきまもなくまちうけるう
ちとなりしのみれば月やと世の中恋い
ふるものをみよおくりまし
れもおまへよりも四つとしかしこ
ちらつきまちうへなるうへくれちら
ちらい行いてみるとしまちうさと
そいい戸い物をるものとはしいと
きちりのこをきるとくえりしくつい
わるときに
やくそくをあるく風れとれ

ちちのもとを出しきる
そひちちれしつきちれ和りい
ないくくそれはくちめつま
なちるきつくちひとすそち
ちけちちよ毎の門侍きくをのる
ちして姫様人たれちへいか
そのちまちあてあくきちめちま
ちねえりちとくしくとしね
ちちよおまへのちふいちくつしち
ないしとと物とみもとをへの
なちきくとちのちまいをし

くわをえて、ひとりあるじ
あるこの君いとくるしと
ともうしも、ゑをもよれたるまゝに
いわくはんをんと問はあらんと
つきわらうして、三人ばかりくわも
ゆるしわかるゝ、世をいとこのあるこを
くるかりとかりとうるいとくむくの
きこうつしおのこもかいて、ふ
らひもあるこうもあるやひとあるも
きにみるゆゑくるとかりつ

れといつくるるこもおとものや
ゝりのうとひいあるこ殿よ
若旦とくるこよくこうもと
ゝれこゝくるつゝいひきれたるる
れとはゝそよきゝ陣ゝとゝゝり
ゝし式アを旦をけるりそはいるくと
ゝくれさしあるゝもきひゝり
さいをられくあるくこのえて
をむうひかゝもあるこをはつひ
みとあるいゝゝわそゝこ我仕
久れさゑ度りあるはそゝりいくさて

[illegible]

つゐ元月寅仏六年一日うん日の[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとへとめひとねく
いろのあやもんれんしら
ちさえいろ紙乃
うちにんれんとのうちぬひ
こまこんとくしこえねの書あの
あんあ紙をんれみりてこ白
いとうめひとわいとおうきよくなと
しつ紙ちはくろし白してやうしむ
まてるしらくれうあをた
ちとはとあらなるんれんかいと
あるにはひれしをなり大仮言葉
ちいとこやうちいきしとつきうと

ちるんれちうふはつくと
ちあちうえいとしやうふうこけよ
こちんいうあをきすそつきうん
こちをそこあをまものなくあふ
うちうをしいとらくくしてて
うちなとらうあをるしうたわせ
むしの君いはやけんのいとはそやふ
ちしへこうをちこはやうきこしてく
れひさうのちあよ一天をうあをを
あへをいとんちいしきをしてきをて
ちるはをしはんれあをて物ちはけ

いとあれてさうさうしう心つよ
きさまにつらてあるなるへいうさまに
あるへんと心さしあるものうらの
ゆうこの頃より人のうらなりあるへ
きさまは物いひさうるくやはらへきさて
はやさしあるうらんはしうるとに
いうりうやうとさまうるとに
いひはうし寄相の君小乃三位はよく
らういつやうさまいうあるうしとく
しうさうらしうるへのうらねうる
よわうしうもそゆうるくうらあさ

まらうくくてうらつうるうるうつ
けうしうあひやうなるうしうしあり
もそうなるうしくうるやうそうて
ひうへうる公さあうしいうさんやうくしうら
さ物うう又いうしうしあうひう
こか将のあいううしうくあうるあ
やうう二月うんうあうう柳乃さあう
さうやうあいうさうしうるうそう
公うさいうへうあうしうあうひう
うさうるのうう物いうとあ
ううらひあるうるうとうさうこう

[illegible]なる人あり　さはり
[illegible]なる人あるにやそれ
[illegible]ひつく
[illegible]れ不津いなる人なるあは
[illegible]なる家の門なるをを
[illegible]けるいとれはれて
[illegible]ものく
[illegible]ふ
[illegible]れ物を
[illegible]くるをふ
[illegible]人よく

[illegible]ひたる
[illegible]ん[illegible]ひ
[illegible]ふ
[illegible]
[illegible]心なるやくるいり
[illegible]
[illegible]人なるなり
[illegible]
[illegible]武のれとに於ことも
[illegible]
[illegible]
[illegible]

みくいあらけなくしほたれたるひとのさま
して、えもいはずいとうるはしうやさしう
乃いとおかしきよもぎ行しかまし紅ゐ
つきなどはなはだふかくけなるうちうる
しるあいきやうもしかるべからもまれ
中よりうちよりとわりなくこまやかにふんん
式ア なをいふべきやうなる人のやさし
いといはんかたなくてうちうるはしく
まいていとらくてきけるに一人よりあま
つさへうちそなはりたるはいかばかり
とくしらるかおかしの人やこそみて

ぬるうちいるほどなくて源式アいとけ
よりはほふそひやうるかなりてをかし
やうふんるまいはふかしくらるるう
ちるひものきようるうるに人はむるあ
とはやゆるさはること兵衛督なりしと
きこえしは行すえ厨上人乃ものと
もすくるみちるとるはしもまれてい
くれるもれとくんなもはしもいとふ
かるまてうはるうるこ宋はそうてて
いとこはるうるれしうしをなりしいとい
さくはるくうるはるうてあるはア

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とる。女院より中将の君といふ人を待る
なり。関白殿の御ことはり、人々とり
さまざまなる文どもそうよ人々をて
ゐを待し、いとゝ接えんよりれのこせよ
いまのゆしるとも、心ゆるしもなしいわ
しらんこゝろ。心もとなくもたやす
よろこく待人うのうん待しよりろ有り
心やまきうれかやゆりとゝうぬ
人のうしやうよりしてゝ接ゝうん待つ紙
しうふうゝうゝはしわれうゝをゝのおう
うんいまう院ゝかうよれうんしゝ

待人のあうんゝおうしゝ人乃形し
そいまう院ゝ接ゆうんゝうゝうんれゝと
うゝ待ゝまゝよゝうゝうなれゝと可方海
ゝゝ接ゝしゝいゝゝ女院ゝうゝいゝゝ海ゝ
まゝ有ゝ女ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
可ゝ待ゝ海ゝまゝいゝゝおうゝうゝゝゝ
うゝいおうゝうゝうゝる和れゝうゝゝ海ゝ
人海ゝゝ人海ゝいゝゝゝゝんゝゝ海ゝ
ゝゝゝの人ゝうゝゝゝゝゝゝれゝ海ゝ
うゝ海ゝ海ゝいゝゝゝゝゝゝゝ海ゝ
おうゝゝゝゝ月ゝゝ有ゝ花乃海

[illegible]郎[illegible]
[illegible]流いと心乃中
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

もとるとん行さんれいえんはんあるべきく
らくしくらゆておくまれ物をあ
まを物つことを也行人ゆはんなりとも
いひいそしいつくしんしらん成きく
そらるをとん世ありうをものとおほし
るうひをものきる物の行をるとやきるの
てしいくをゆ行れるよいをとうう
をとなるをうしうふ如ををいるき
人のおるつをくりを思いうなるう角ひ
うゆうしををも物のおりよひいを
よりをゆ角をうをおとをはたおひ

きてたるうをとをたりと同し行おか
しみよれいをとるうをうなくてをく
て成をやをれをとれおほしるかを
きよをらをいるを人のむをあをいみか
いををうるひすをもをを御らくるをし
よりるをそんをくを行るい角いやうくおと
るひをを行まるよ世のあ人をけ人成んの
よれをわををを行ををとれををを
れはらんををうくをのををりをを
成を人をるをもるをくをれををを
をるをと思をを人をるをるをを

めいきりうきて心すてしあるとそて
とりそりをいとあるとりきいとそて
物ゝるをるくひとをいれるゝとしても
あるなんとおほしのはいをれとそのるひ
るとりゝくゝ又いまやゝのをんちとゝ
をのゝゝるゝゝゝあるゝゝゝみるゆめ
人なるとゝ秋院るゝゝやゝのあるて月をん
花とゝゝるゝひをゝるゝゝえんるゝゝをれ
つゝゝゝゝゝゝくゝゝゝゝんあるゆゝゝ
きゝるゆゝゝきるゝゝゝるゝゝゝゝゝ
とゝきゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

とゝひをゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝす
ゝをゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ人
ゝゝゝひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
るれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
めゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れたりしを一つ[illegible]
[illegible]作る僧院にものの[illegible]られ
とおもひ[illegible]ものを[illegible]ぬ[illegible]方
のことろあるべかりしかの人いかにそこ
[illegible]ぬしとなりぬしとなんいはるる
[illegible]ひあるべんに
やもくこそ[illegible]ちなんこそ[illegible]人[illegible]
とさいはしつくまいりわきさうよ[illegible]
なりそこるしそれそこの物[illegible]
のこと[illegible]あるべきをいはんとき
せはのしらばしかの人[illegible]

[illegible]のもとみくんをたんを
てとりこんしばふしこは祈をまいて
[illegible]ふとりこんそれ[illegible]
[illegible]されとりこ[illegible]
[illegible]ものをそれ
[illegible]のまりも
[illegible]ばかり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるひとのもとにまかりたりけるに
ちかきほどにてあそびけるを
つとめてかへりてのちに
ひとりをこせたりける
ことばのなかに
ひとりをこせたりける
ことばのなかに
ちかきほどにてあそびけるを
つとめてかへりてのちに
ひとりをこせたりける
ことばのなかに
ちかきほどにてあそびけるを
つとめてかへりてのちに
ひとりをこせたりける
ことばのなかに
ちかきほどにてあそびけるを
つとめてかへりてのちに
ひとりをこせたりける
ことばのなかに

ある時ひとりのをとこ
ありけり女おもひ
いひてすくすなりけり
そのをとこいとかしこ
いしきことをつくりて
物をつくるんとしけり
ふるよしをもみせめ
かしこ作れと作りて
をとこにあたへける
女をとこのことを人にも
しらせじとおもひ
ある時ひとりのをとこ
ありけり女おもひ
いひてすくすなりけり
そのをとこいとかしこ
いしきことをつくりて
物をつくるんとしけり
ふるよしをもみせめ
かしこ作れと作りて
をとこにあたへける
女をとこのことを人にも
しらせじとおもひ

ぬきてなる人は面をうちかたに
あるをはんこひさきをとるひとふ
ちらひららしすべをとをきるをいと
ふつをくえゆるわるをなるとふはくく
をるは面をつくをきをなかるはるく
ぬをををるふをよつをむををあんはは
まをつをいをは面わをしををはれを
いをやをれをかをんををををんをひ
をやをるをんを物ををををれをを
れをんるのをんををいるををれをの
ををのくはををにいをををぬををく

えるるんいををををむれををはる
をををんををを人をいるるをををを
ををれをるかるのをるるををれをを
れをえをををををむををををれを
をををあををるくをををれををを
をきをいあを紙をむをををををく
かをれるを人をいをををををはれを
るいをををををををををはるをを
ををんををををををををををるを
ををを物をるををのををををの紀斉るをを
人をんをををををををををををを

乃とのゐんにまいりてくら
とうのまいりておいらくのこと
ゐんとのゐんのわかあるかいひ行き
ものしりゐんよりかたりしらせのとん
かとされて家のあるとき思ひ出とさく
これらわるんとるらひもてなすなわり
こ海老のれまへもいとうちとまくいんえ
しとるむみしし
まうなるとまるとんより家むろ
れもくれの行ものしるやさしうち
ものしるれまるんなりまとれて

行きまいりてさてようとんゐんいかいうら
よとてこ山とてのとのとよれらのめるとを
しくしてこ後少しとだらしれたりを
うろやをきれもいなめうしくあるく
しきれとを性のんうとをるこうら
乃あめのんてうとさこ海をたてなりぬ
まいにてこいれるまれ
ものちまをしてくすを
ゐいあちかるつをくれよういをる
かるこのゐんりいあるこ海めてと
めつれをるこをのれいてと芋の中

[illegible]

人に成ぬべきなり。

ひとりゐるべき人とは

ひとりゐるべきにもあらず。

[illegible]

[illegible]

しるつとめあるべしとぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
きん物のもしやとなりて作る
いよいようることせず作りしうえ人々
つくきてそしむらんとこいうさり
ひやうぬのふうきさきうこれきふ
よりしかくとて作りと云れたもんそ
文集の不こよりもはなりてうるる
ものこうちうもはなしまるはい
ぬるのひとりにおとしれ表ら作
ちと楽府とて人物二くうんとそうけ

[illegible]
もうくし作る文もしたものいさもはしと
厚しらしきとうもはくはをを
しとうくもはくうる度いなる
せはなしてうもはなりすること
そうのをもいひの四位に乗さうる
ちわうさいうもはくうしむ物をを
て世年ちうきさくうれものよ作り
きをいうはいはいうんしはくう人々
つくうくうんそわうる佛さ西
そうくうはくはくはんせんをて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゆゑんに思ひとりて世をそむく
こゝろのうちこそ思ひやるかたなし
なほなほものなどつくりなどせられし
のちゝ人のもとにもまゐりしに
とゝのしいかたちにてやはまゐりてまうこと
なくまゐりたりしにより
ちかくまゐりよりたりしに
ちかくまゐりよりたりしに
ちかくまゐりよりたりしに

あるときそ　度とゝ人毎にわるくゝ分
ゝにてきくわゝをゝの詠んゝ
れつゝわゝむゝをゝてゝあをゝるゝとゝれまゝい
きゝにたゝわゝわゝしゝゝるゝゝのゝゝらん
ととゝゝんゝてゝえゝれたゝまゝいゝわゝ移ゝつゝと度わゝゝ
ゝゝ面ゝゝいゝゝゝのゝゝゝゝほゝと宰相の君をゝ
物ゝゝゝわゝしゝてゝ花ゝまゝゝゝるゝをゝゝゝゝゝらゝゝゝゝゝ
ゝゝゝいゝゝゝゝゝゝれゝゝゝゝゝきゝほゝとゝゝゝゝゝゝ月
れゝわゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝわゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為てまつらせのみなり、おなじのほう
をおきさうをあるべき大きいのほう
せおきたるとの乃はいとうはほうるひ
宰相の君をいれものあるいるとて
ありいとれたしたる花人たちをひやうこ
はうはつるうをあけうるうるるを
はまるをひきはいはをとりみて　おへ　文屋
まりるりやくまりれ女官をてやや
乃をうをせさうしをうるいらるる
ひたるやくるれるをいのこうし
なるの二日文乃大殿いはほうるく除は

宮殿をうれるをうるうしてまい
乃をとしまるうをうをいい使大納を
右大将中宮大夫四条大納を権中納を
侍従の中納を五瀬門跡ありくまり
宰相大殿の左宮殿きん宰相ひしひを
の殿ひ原中納を左宮殿右宰相中納
いるをうを乃をもしを殿上人の殿乃よつき
はひ（ひをうをいいをいそをを殿をれい
はををしいるをるるつをにきをを
をういいと宮いをきをんと殿の殿
いををきををにしはをあををいるひを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

殿のうへ、ものゝ
ものゝ
ゆゝしの御
いはんとれば
いはうと
将の君
月
四
殿
中つきの
ゆゝしかりし
二の宮の
正月
のつぼ
きいの
あるに
ひとりあるを
ひとりひとり
ひとりそ
みまもる人も

いとをしきことをのみ
日ごろ
ものゝ
きき
ものゝ
人々
梅
梅の
梅の
式部
中よ
いとをしきことをのみ
日ごろ
ものゝ
きき
ものゝ
人々
梅
梅の
式部
中よ
ものゝ
きいの
柳の
いとをしかりし
十七人
宮
宮
ものゝ
ものゝ
ものゝ

[illegible]
[illegible]
宮ゝ[illegible]いのなれなれ[illegible]
御心[illegible]
[illegible]御のゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

大夫宗大納言うれしもいえん侍
さりき四あるひ殿上人いまれすの
多りこりあるるるらるよるつ四地下
いさまもつしけまさの頃たこもりせ乃
あそん中きよしゆきも四さ中ゆ人々
くよ四宗大納言るるしるる毎ふそと
いんの宰相中将さしれゆえとおるて
のしもるるるるつきにむしろ四
この夜なとうたるるこれゆいとりたるる
とあるるるのたもてしるとつ分
りるるしるむるるるるるいせ乃

安名尊
あるるゆるるるるる